

えんがわ

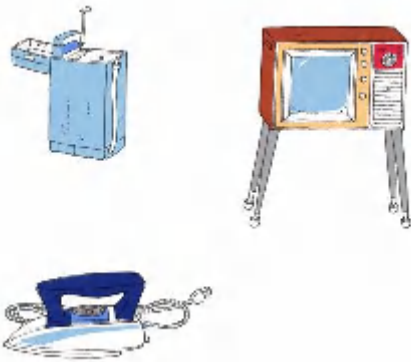
第52号

2011年7月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

昭和言葉

私が今まで在宅介護に関わってきた、たくさんの高齢者と会話をしてきました。その中で、最近あまり使わなくなってしまう言葉や耳にすることがあります。例えば「シャツポを脱ぐ」・・・「シャツポ」帽子なので、帽子を脱ぐ＝脱帽する！といった意味ですね。他にも、「へつつい」＝かまどの事。「素寒貧（すかんぴん）」＝お金が無く、着るものも無く貧しい様。「電気の本ヤ」＝電球（灯油ランプの火屋から派生）。「外套（がいとう）」＝防寒の為に羽織るオーバークोट、「衣紋掛け」＝ハンガー、など、知っている、



使っている方は当たり前前の言葉でも、これらは現代ではあまり使われなくなりました。言葉で「老人語」とも呼ばれているそうです。（私は昭和言葉と呼んでいます。在宅介護の中で円滑なコミュニケーション・ションを行うためにも、「昭和言葉」を大切にしていきたいですね。長瀬ケアセンター訪問介護管理者 九鬼 貴紀

えんがわ在宅 ひとくちメモ

家庭での地震・節電対策について

家庭での地震対策は、まず家の中を安全にすることです。大地震では家具の下敷きになり亡くなる方も多数おられます。寝室では出来るだけ低い家具を、布団との位置関係を考えて置くようにし、家具の固定、食器棚の開き戸ストッパー設置、ビン・ガラス類は棚の上に置かないなどの対策は有効です。停電も考えられますので、枕元には懐中電灯、携帯ラジオ、スリッパの3点セットの用意もお勧めします。ガラスの破片等から足元を守るためスリッパか厚手の靴下の用意を勧めます。貴重品・救急箱は取り出しやすい場所に置き、予備のめがねがあれば避難袋に非常食とともに保

管しておきます。お住まいの地域には、災害時どのような危険があるか、横須賀市の防災ハザードマップで確認しておく事も避難等の行動に役立つと思います。

エアコンは無理のない範囲で使用を控え、扇風機を使用することで五十%の節電効果があります。除湿運転は機種によって電力が増加する場合があります。電気ポット、炊飯器の長時間の保温は控え、お湯は必要などとき沸かし、ご飯は電子レンジで温める。テレビの主電源を切り待機電力をなくす、冷蔵庫は「弱冷」で使用するなどの節電方法があります。エアコンの使用を控えるのが一番効果的ですが熱中症には注意して下さい。

法人施設サービス課長
角屋 吉位

暑くなってきました！熱中症には注意しましょう。